# こんぺい新聞

'11.10.No.17
発行責任 南岡匠
0883-88-5292

また、毎年中学校、小学校でもセッションして頂いてますが、今年は桜の瀬小学校。来年3月より東祖谷山村(四)四校が統合するので向になっており、最後という事にもなりました。

子供たちも、この日の為に練習を重ね、大人さん達と校歌をセッションし、見に来ていた親たちOBの皆さんを喜ばせました。

「合唱」といわれお生演奏を聞く機会がなかなかないので、子供たちの心に音楽の楽しさや素晴しさが伝わったことでしょう。

東祖谷中学生の皆さんや桜の瀬保育所からも参加し楽しみました。

# 桜の瀬小 100年そして

それでも、学校は、来年三月からは、東祖谷小学校へおそらくとしてスタートし、新たな歴史を築いていくので、寂しくなりはしません。

昭和の年代の様に小、中学校が同じ校庭、校舎となり、にぎやかにはなりますが、十年後を考えると明るい話にはなりません。

こんなニュースは祖谷に限らず、三好市内でも、今年で閉校となる小学校の運動会のニュースが新聞に載ってましたが、対策なんてないと同然。

にで、頑張って子供たちが集まる方策を考え、明るい話題を提供してる地域もある様です。

そんな地域は、住んでる人の意識がどこか違うような気がします。

愛着度の差かも知れませんが。

9月には、毎週、運動会もありました。どの小学校も、最後の運動会。工夫をこらした運動会となりました。

桜の瀬小では風船を飛ばしたそうですが、その日の内に、その一個が岡山に到着したと連絡があったそうです。

何時でもそうですが、幕をおろす時には様々な想いがあり淋しいものです。

一時代の終わりかも知れませんが、残念です。

# 祖谷と熊野

(田辺市)

台風12号のニュースの中で、田辺市熊野(イヤ)の被害のニュースがあり、おやとおもった所、向は、大変関係のある場所らしいのです。

どうして、おやと感じたかといえば、我が愛しの祖谷も、ルビでもふってなければ、ほとんどの人がヤ、かヤタニと読みます。

田辺市の熊野(イヤ)とは読む人は、熊野の住民かその周辺の人達だけだと感じたからでした。

祖谷山の開山は、恵伊(エイ)羅(ラ)雑郷(ゾウ)子と小野老婆だと「祖谷山旧記」(宝暦九年)に記してあるのがはじめてでそうです。(東祖谷山村誌より)

この恵伊羅雑郷子が熊野と関係があるらしいのです。

その他にも奈良本川村の方言が祖谷の方言とよく似ているとの調査もいわの民俗に記されています。そういえば、十津川村とは、東祖谷山村時代に姉妹村にもなっています。もっと勉強してみたいとおもいます。

# どうして枯れるの

本州では、ナラ枯れが増えているという新聞記事がありましたが、祖谷方面ではケヤキが枯れはじめている様です。

秋がはじまる前から、ケヤキの葉が茶色になってるのが目立ちはじめ、大木の葉すべてが枯れているケヤキもあります。

そして、ケヤキの下の方の枝ごと枯葉になっているのはあちこちでもみられます。

ナラ枯れはカシノナガキクイムシが巣くうことで枯れているという。この虫は大木を好むということらしいので、もしかしたら犯人はこの虫かも知れませんが。

また、山の中腹では、ツツジ類の葉がない木もありました。決して、鹿に皮はむかれていませんので、鹿が犯人ではありませんが。どうしてなんだろう。